



沼津市の新聞発する手に

46歳、4児の子育てをしている父親です。常日頃、子ども達には先の見えない未来でも、感じる不安を楽しむように、一歩ずつ歩んでほしいと感じています。

今月8日と9日、掛川市で羽生善治九段と藤井聡太王将による第72期王将戦7番勝負の第1局が行われました。4年前に沼津市で行われた羽生九段の講演を拝聴して以来、私は羽生九段のファンになりました。

00期の大偉業が達成される日を持ち望んでいました。今回の対戦相手は今をときめく藤井王将。天才同士のタイトル戦に日本中が注目しました。

対戦の様子は動画共有サービス、YouTubeで生中継されていましたので、デスクワークの傍ら観戦することができ

ました。初めは将棋をじっくり拝見したのですが、昔テレビで見た棋戦の生中継と、放送スタイルが大きく変わって驚きました。

驚剣に盤面に向かっている羽生九段と藤井王将の様子に行中の盤面のAI評価値がパロメータ表示をされ、その脇にAIが算出した次の指し手の候補が5手程並ぶ。さらには今後の対局の最善の読み筋も表示されています。

将棋素人の私には複雑に駒が並ぶ盤面に、勝負の状況は理解できませんが、画面に表示されたパロメータを見て優勢劣勢を知ることができたり、AIが指示する補手から長考している棋士が、どの手を指すことに悩んでいるのか分かる気がして、楽しく観戦することができました。

た。ただ、生中継では気になることも聞かえてきました。対局を解説されていた森内俊之九段が話された内容で、昔のタイトル戦の様子について。

「昔は控室に棋士が集まって対局を同時進行で検討していた。一手一手に注目していた。検討して

いたものと違った素晴らしい一手が指される大きな歓声が起り、時折、テレビ中継から、その歓声が漏れたりした。そんな控室には運営本部から注意が入ったりもしたものです。

通算タイトル99期の、歴代最多勝利数の記録を持つ羽生九段でも一手に不安を感じている。生中継でAI評価値も羽生九段を見ていた。はたして未来が見える不安のない中で指す将棋に、羽生九段は感動を覚えるのだろうか？と感じました。不安は分からない

から不安であって分かってしまったら安心もできますが、脅威にもなります。脅威を感じてしまったら、一手も指すことはできません。不安だからこそ、感動を感じました。私は名人同士の対局もさることながら、日本独特の文化

未来の一手

飯田理一朗

をつけ、ひっくり返して「成る要素を加えることで面白くし、短時間で決着がつくように、取った駒を自分の駒として使うようにした。ボードゲームは世界各地にあります。将棋のようなゲームは日本にしかありません。小さな箱に駒を詰め込み、旅の疲れを旅籠で癒しながら、遊びに興じた先輩方の笑顔は想像に難くないです。古来日本人は、細工をして、小さく詰め込むことを美德としました。細工をしないものは「アサイク（不細工）」と呼び、詰め込まないものは「つまらない」と呼ぶ。その感覚は現代の私達にも日常に使う言葉として、脈々と受け継がれています。

に育った将棋という遊び自体にも引かれます。インド伝来の将棋ですが、日本人にさが詰まったゲームにすぎません。それは旅好きの日本人が、旅先でも遊ぶように、細工し、工夫されてきた歴史にあります。

対局の様子を見つづ、子ども達には以前聞いた羽生九段の講演の話や前述した将棋の歴史を織り交ぜながら、不安だから踏み出せる一歩があることを伝えたいと考えています。

先が見えない未来であっても、日本人らしい感覚を忘れずに歩んでほしいと感じています。

静岡中央銀行は、地域の中小企業のD

を見るたびに忘れてはいけない感覚の一つだなと感じています。

対局の歴史を織り交ぜながら、不安だから踏み出せる一歩があることを伝えたいと考えています。

先が見えない未来であっても、日本人らしい感覚を忘れずに歩んでほしいと感じています。

を「成る要素を加えることで面白くし、短時間で決着がつくように、取った駒を自分の駒として使うようにした。ボードゲームは世界各地にあります。将棋のようなゲームは日本にしかありません。小さな箱に駒を詰め込み、旅の疲れを旅籠で癒しながら、遊びに興じた先輩方の笑顔は想像に難くないです。古来日本人は、細工をして、小さく詰め込むことを美德としました。細工をしないものは「アサイク（不細工）」と呼び、詰め込まないものは「つまらない」と呼ぶ。その感覚は現代の私達にも日常に使う言葉として、脈々と受け継がれています。

先が見えない未来であっても、日本人らしい感覚を忘れずに歩んでほしいと感じています。

先が見えない未来であっても、日本人らしい感覚を忘れずに歩んでほしいと感じています。

先が見えない未来であっても、日本人らしい感覚を忘れずに歩んでほしいと感じています。

静岡中央銀行は、地域の中小企業のD

を見るたびに忘れてはいけない感覚の一つだなと感じています。

対局の歴史を織り交ぜながら、不安だから踏み出せる一歩があることを伝えたいと考えています。

先が見えない未来であっても、日本人らしい感覚を忘れずに歩んでほしいと感じています。

「清水町は、燃料価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰などの影響を受けている住民生活を支援するため、昨年8月に地域ポイント「ゆづいポイント」を全世帯に配布。利用期限を同年12月31日までとしたが、長引く物価の高騰やコロナ禍を受け、利用期限を2月28日まで延長した。

この事業で町は、昨年7月1日時点で町内に住民登録のある約1万4300世帯を対象に8月中旬、ポイント入りカードを特定記録郵便で配布した。加盟店舗数は町内の143

「清水町は、燃料価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰などの影響を受けている住民生活を支援するため、昨年8月に地域ポイント「ゆづいポイント」を全世帯に配布。利用期限を同年12月31日までとしたが、長引く物価の高騰やコロナ禍を受け、利用期限を2月28日まで延長した。

この事業で町は、昨年7月1日時点で町内に住民登録のある約1万4300世帯を対象に8月中旬、ポイント入りカードを特定記録郵便で配布した。加盟店舗数は町内の143

(原町中)